

N3

視覚情報だけでわかる避難情報表示アプリ

テーマ選定理由

情報技術を用いた最も災害対策に有効な方法は **情報伝達** であると考えたため

現状調査

災害時の情報伝達について主に何に不満を持っているか



図1 情報伝達の何に不満があるかについてのアンケート

ニーズの確認

現在の情報発信の方法に不満はありますか

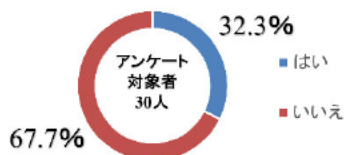


図2 情報発信に対する不満についてのアンケート

前提条件

地震直後の情報が少ないため避難できない

目標値

避難経路情報を含んだ情報を視覚的に伝達

代表的既存策/残存問題点

<Lアラート>

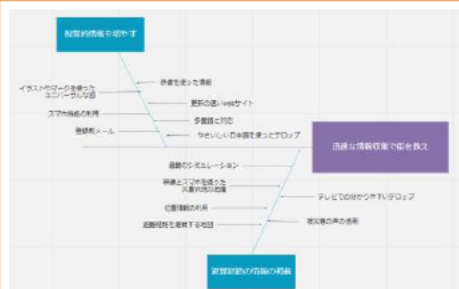


災害情報はあがるが
避難経路の情報なし

↓
避難することが
できない!

図3Lアラートの活用状況

課題解決のためのアイデア創出



ユニバーサルで視覚的な
避難経路情報を伝達

↓
だれでも素早く避難行動
に移すことができる!

図4特性要因図

創出したアイデア

<避難方向表示アプリ>



アイコン



コンセプトは誰でも避難所に向かうことができるアプリ。スマホの画面に避難所までの距離と方向が表示される。

長所

- ・GPS機能だけで良い
- ・言語が関係ない
- ・素早く非難ができる

短所

- ・電力消費が激しい
- ・事前のインストールが必須
- ・作成が難しい

活動のまとめ

- ・外国人などの文字の読めない人や難聴者に避難情報を伝えることができると期待される

2020年度 プロジェクトデザインⅡ
クラス・チーム: EP306-T4

メンバー: [Redacted]

担当教員: 河並崇先生